

前週の子どもの姿から

環境の構成・教師のかかわり

・遊びに必要なモノや場を使う、作る、身に付けるなどの姿が増えてきた。一方で、子どもによっては自らモノや場を使い始めるのに躊躇している姿があり、教師が関わってモノや場を提供することで、そこから遊びが始まる様子も見られた。

・遊びの中で、モノをたくさん出しすぎて、場が雑然としてしまうことがあった。

モノ：

- ・自分のイメージを実現していけるようなモノや場に出会い、それらを活かして十分に楽しめるように援助していく。
→絵の具や粘土、石鹸など感覚を楽しむモノとの関わりや音楽や絵本などイメージが広がるモノとの関わり
- ・いろいろなモノ(素材)や場を使って、自ら遊び始める姿を認める。

・気になる友達と一緒にいたい、同じようにやってみたいという気持ちが強くなっているが、一緒にいることで羽目を外したり、思いがぶつかったりしてトラブルになることも増えてきた。

・友達が楽しそうに遊んでいる雰囲気を感じて、自分もやってみようとする姿がある。

ヒト：

- ・自分の選んだ遊びに取り組みながら、友達と関わる楽しさを感じられるようにしていく。
- ・自分の思いを友達に伝えたり、相手の思いを聞いたりできるように橋渡しする。
- ・子どもが教師を信頼し、気持ちを素直に表せるように働きかけつつ、保護者とも連携し、安心して過ごせるように配慮していく。

・ジャガイモ掘りに出かけ、土に触れて収穫する楽しさを味わった。

・ドロケイの帽子を年長組に借り、ゆるやかに継続している。土俵を描いて相撲をしたり、木陰を活かして泡作りを楽しんだりした。

・生活の流れが分かってきた。自らトイレに行ったり、水を飲んだりする姿も増えている。気持ちの切り替えや着替え等に時間がかかるので、弁当や降園前には時間のゆとりと、みんなが揃って楽しいひと時を過ごすための工夫が必要であった。

コト：

- ・年長児との関わりが、憧れの気持ちや自分もやってみたという気持ちにつながり、遊びや生活が豊かになるよう援助する。
- ・初夏の気候や自然を感じ、遊びや生活に取り入れられるようにする。
- ・みんなで過ごす心地よさや楽しさを感じられるよう支える。



*** 週のねらい**

○自分の思いを動きや言葉で表しながら、友達と関わり合って遊ぶ。

○身の回りのことや、みんなで生活するうえで必要なことを自分からやろうとする。

○自分の思いを動きや言葉で表しながら、友達と関わり合って遊べるように。

- ・やりたいと思って動き出した姿を捉え、扱いやすい素材や道具を用意する、関わり方の拠点となるような場や雰囲気を作るなどの援助をする。
- ・友達との関わりでは、自分の思いを素直に表したり、相手の思いを受け入れたりしながら遊びを続けられるよう、教師も関わる中で援助する。
- ・楽しかったことが、次の日の遊びや生活につながるよう、遊びの場をどう残すか、作品をどう置くか等を子どもと一緒に考えていく。

製作

- ・様々な形・色・硬さの紙、ハサミ(よく切れるもの)、ビニールテープ、すずらんテープなどを適宜出し、子どものイメージするようなものができるような環境を整える。
- ・作ったものを遊びに活かし、繰り返し使えるように、作品に変化や工夫を加えてみる。また、記名したり、置き場所を整えたりして、大事に使い続けられるようにする。
- ・電車、手裏剣、ステッキ、お面、色水など、友達と同じものを作り、そのモノや場をきっかけにして、子ども同士の関わりが広がるつながりを大切にする。

砂場

- ・砂を掘り、水を流してダイナミックに遊ぶだけでなく、友達とイメージがつながりながら遊ぶ楽しさを感じられるように働きかける。
- ・水や道具を必要なだけ使う、友達と一緒に使う、洗って収める等、教師も一緒に行いながら、モノやヒトと丁寧に関わる姿勢が伝わっていくようにする。

自然・季節

- ・草花つみや虫探し等、子どもたちが興味をもったことや発見したことに教師も共感し、周囲と共有したり関わりが広がったりしていくよう援助する。
- ・アサガオや畑の野菜などに関心を寄せ、友達や年長児と伝え合って生長を喜んだり、水遣りをしたりして、世話をしようとする意欲につなげていく。

三和土・木陰の活用

- ・園庭の花びらや葉を使って色水作りやままごと等を楽しむなど、素材や道具の特徴、場を生かして遊べるように援助する。
- ・指絵の具や新聞粘土の感触を味わったり、色水や泡づくり等を楽しんだりできるよう、道具等の準備をしておく。

年長児との関わり

- ・年長児の遊びの様子を見て、憧れたりやってみたくなったりする気持ちを受け止め、4歳児なりの生活や遊びにつながるよう支える(遊戯室、野菜の調理、木登り、川遊び、泥粘土等)。
- ・年長児と関わる中で、思いが伝わらなかったり、力が及ばなかったりする経験も大切にしながら、年長組への憧れやがんばる気持ちにつながるようにしていく。

○身の回りのことや、みんなで生活するうえで必要なことを自分からやろうとするために。

- ・遊具や道具、材料等が雑然としないように、物を丁寧に扱い、元に戻すことを促し、みんなで気持ちよく過ごせるようにしていく。
- ・片づけや弁当の準備は、個々に促しつつも、みんなで行っていく雰囲気を大切にする。時間差がでしがちなので、声かけのタイミングに留意する。
- ・暑くなってきたので、帽子を被る、水を飲む、トイレに行く、着替える等の声かけを適宜行い、子どもが自分でも気づいて行う姿を認める。

| 24 (月) | 25 (火) | 26 (水) | 27 (木) | 28 (金) |
|--|--|--|--|---|
| 9:00 登園 うがい手洗い 身支度 | 9:00 登園 うがい手洗い 身支度 自分の選んだ遊びに取り組む | 9:00 登園 うがい手洗い 身支度 自分の選んだ遊びに取り組む 発育測定(池) | 9:00 登園 うがい手洗い 身支度 自分の選んだ遊びに取り組む 発育測定(林) | 9:00 登園 うがい手洗い 身支度 自分の選んだ遊びに取り組む |
| 室内：描画・製作・ごっこ遊び・ショー・三つ編み・油粘土等 園庭：草花摘み・虫取り・すもも・ドロケイ・色水・石けん遊び等 | 10:45 片付け トイレ 昼食準備 11:20 弁当 お腹休め 自分の選んだ遊びに取り組む | 10:10 片付け ジャガイモやさん(遊戯室) 10:30頃 招待を受ける 手洗い等 10:35 食べ始める 10:50 「ごちそうさま」をして保育室へ戻る 降園前の集まり | 10:45 片付け トイレ 昼食準備 11:20 弁当 お腹休め 自分の選んだ遊びに取り組む | 10:30 片付け 降園前の集まり 歌・絵本など 降園準備 外靴持ち帰り 11:15 降園 |
| 10:30 片付け 降園前の集まり 歌・絵本など 降園準備 | 12:30 片付け 降園前の集まり 歌・絵本など 降園準備 13:15 降園 | 11:05 降園準備 11:15 降園 | 12:30 片付け 降園前の集まり 歌・絵本など 降園準備 13:15 降園 | |
| 11:15 降園 | CAP講習会① | 園内研 | CAP講習会② | 公開保育研究会 |

絵本・紙芝居：ジャガイモや雨、水に関するもの 「おねぼうなじゃがいもさん」「かたつむりのおんがえし」 など
手遊び・うた：かえるのうた、トマト ゲーム：お引越しゲーム、おちゃをのみにきてください